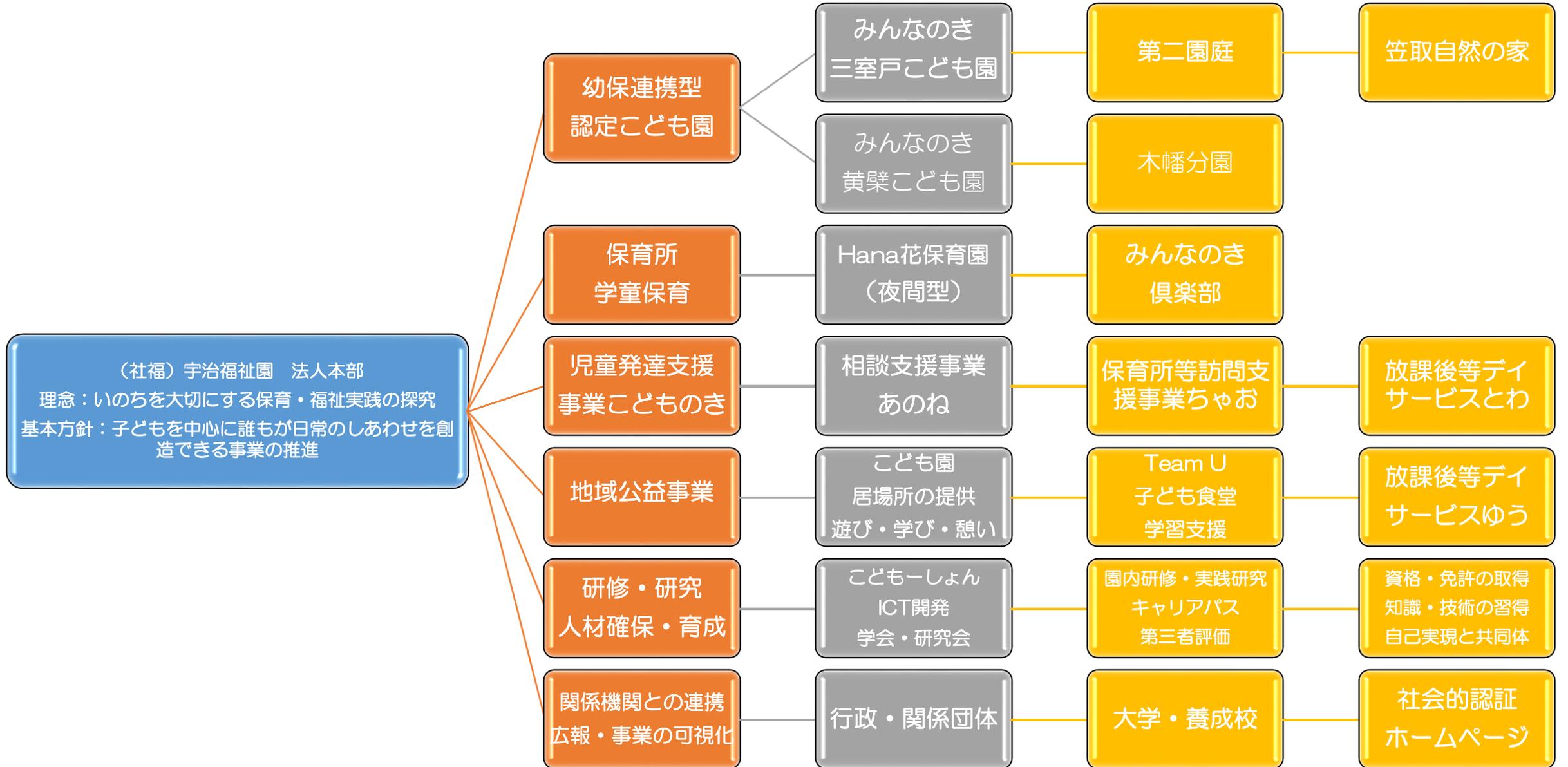


令和2年度事業計画

社会福祉法人 宇治福祉園

法人の理念と各事業及び組織図



1. 基本方針、中長期計画 (平成28年～令和2年)

重点テーマ及び法人の基盤強化

計画の理念：「生命を大切にすゝる同行をすゝべての実践へ」

背景：「地域共生社会」、「Sustainable Development Goals」、「制度改革」

1. 経営基盤の強化と法人の存続意義の持続的・計画的実現
2. 人材育成と職員処遇、労働環境の整備・改善
3. 法人理念及び教育・保育要領、保育指針に基づく実践の組織的展開
4. 実践研究及び実践を科学的・多面的にサポート・推進するシステムの活用・開発
5. 子どもを真ん中にした地域公益活動・社会貢献活動

令和2年度事業計画の構成

1 中長期計画の基本方針及び重点事業

2 実施計画

【事業の基本理念】

「生命を大切に同行をすべての実践へ」という中長期計画の理念に基づき、子ども、その保護者、家庭、地域の日常が同心円的に豊かになるよう教育・保育の方法の探究及び成育環境の創造、社会貢献活動の推進に努める。

【使命】

- I. 一人一人の子どもと大人の生き生きとした日常を支える。
- II. 一人一人の出会いに感謝し、すべての活動を対話的・同行的に創造し、育み合う。
- III. 子どもを真ん中に、誰もが日常のしあわせを享受・創造できるコミュニティ・社会づくりを推進する。

【役割】

1. 理想の教育・保育者像を目指し、質の高い教育・保育の実践・創造・探究に努める。
2. 対話は福祉や教育の原点であることから、丁寧な同行のプロセスを心がけると共に、関係するすべての子ども・保護者・関係者とより良い関係づくりを目指しながら、一人一人のニーズの把握に努めていく。
3. 2のプロセスにおいて、自身の人間形成に活かし、人的環境の一員として、人間性の向上と技術の習得、表現力の向上について計画的に実践する。
4. 自然の恵みや身近な素材を活用し、より良い物的環境の吟味・構成・循環に努める。
5. 子どもや大人が生き生きと集い、活動し、ふれあうコミュニティや福祉風土の醸成に貢献する。

1. 経営基盤の強化

- ① 政策及び制度の理解と活用に努め、安定的かつ効率的な事務の執行、資金管理体制の強化を図る
- ② 令和3年度開設予定の多機能こども施設「仮称：みんなのき三山木こども園」に備えた土地の取得・施設整備計画の資金計画の着実な遂行
- ③ 放課後デイサービスの安定的な運営のための計画的実行及び環境整備
- ④ 社会福祉法人経営者協会、認定こども園及び保育の各種関係団体からの学びの実行と反映

2. 人材育成と職員処遇、労働環境の整備・改善

- ① きょうと社会福祉人材認証制度、京都府保育協会キャリアアップ研修等の活用
- ② OJT、自己評価等を活用した法人内人材育成システムの確立
- ③ 職員給与及び労働環境等の整備・改善
- ④ 教育・保育の質及び各種業務の質と労働環境の両立に向けた業務の見直し及び組織の改編・体系化

◆手厚い職員福利厚生保険への加入、休日日数の増など

3. 法人理念及び教育・保育要領、保育所保育指針に基づく実践の組織的展開

① 児童中心、子どもの主体性を育む教育・保育者・・・子どもの人権と個性・特性、主体性を尊重する子どもと教育・保育者の相互主体的・対話型実践

② 養護と教育の一体的展開

安心感と居心地を土台に、どの子どもも個性的想像的創造力を愛し、自由に自己発揮できる教育・保育風土を醸成する⇒豊かな情操・感性を育む

③ 環境を通じた教育・保育

◆人的環境としての保育者、スタッフ

保育者等の人間力、法人の総合力を総動員して、5領域及び幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿のセンスを伝える。また、一人一人の職員の特長や人間的な魅力が有機的に結びつき、子どもの憧れモデルになるよう努める

◆物的環境を吟味・構成する保育者、スタッフ

保健的な環境を土台に、子どもの興味や関心、姿を継続的にアセスメント（調査・記録）しながら、健康及び自然や科学する心、食育及び日本の生活文化の伝承等のより良い環境構成を行う実践方法の確立と発展に努める

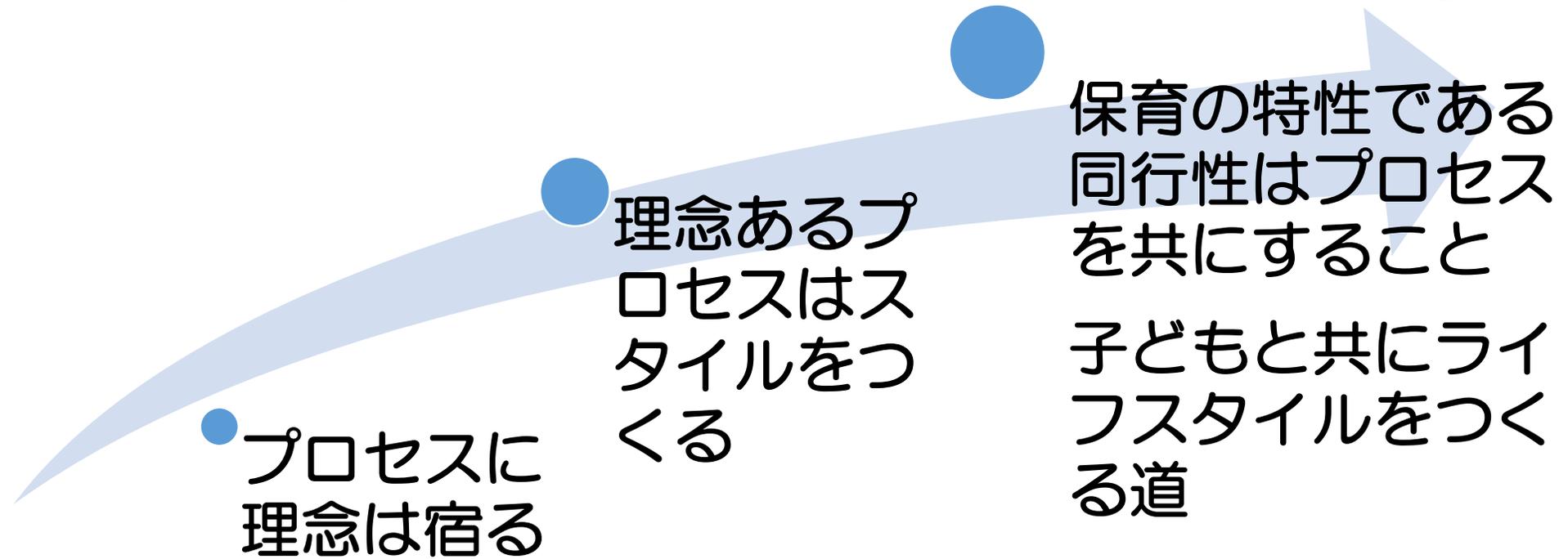
4. 実践研究及び実践を科学的・多面的にサポート・推進するシステムの活用・開発

- ① 全私保連保育・子育て総合研究機構等全国保育組織への参画
- ② 全国保育所協議会保育研究集会での実践研究発表
- ③ 京都府保育協会、京都府第三者評価支援機構、京都保育士養成研究会等、関係組織・団体への参画
- ④ 養成校への出講、外部評価委員としての協力
- ⑤ 「こどもーしょん」システムの充実・・・保護者に便利なアプリの開発・搭載、業務省力と教育・保育の質とを両立する様式の作成
- ⑥ その他・・・日本保育学会、日本乳幼児教育学会、日本赤ちゃん学会、日本心理臨床学会等への参加・参画

5. 子どもを真ん中にした地域公益活動・社会貢献活動

- ① 地域拠点としての活動・・・京都地域福祉創生事業「こらぶれーしょん」の推進、「TeaM U」における子ども食堂・惣菜提供の推進、人材ネットワークの拡張・充実・・・教育・保育の質の向上と子育て支援の充実
- ② 学童保育及び放課後デイサービス、相談支援事業の一体的展開
- ③ 災害時の自衛隊宇治駐屯地との協定、宇治市災害ボランティア活動への積極的参画
- ④ 行政、社協、大学、養成校、他法人等の関係機関・団体との連携・協働

生活を全体的・総合的にマネジメントできる保育の強み



共生のかたちを不断に探究する目覚めと創造の生涯教育の理念

- 対話～共生～平和を目指す、愛情に満ちた人間性豊かなコミュニケーション
- 「衣・食・住」を土台に、命やものの成り立ち、生きる力を育む生活体験型カリキュラム
- 生き生きと創造的想像力を発揮し、個性豊かに自己実現を目指す遊び・活動

全体的な計画 I : 園児の入園から修了、就学以降の成長のあらましと園の活動

幼児教育において育みたい資質・能力

- 知識・技能の基礎
- 思考力・判断力・表現力の基礎
- 学びに向かう力・人間性等

スムーズな小学校接続

アプローチ
カリキュラム

スタート
カリキュラム

新しい時代に必要となる資質・能力

- 生きて働く知識・技能の習得
- 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成
- 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養

乳児
0歳児

3つの視点

幼児
1~5歳児

5領域

就学前
6歳児

幼児期の
終わりまで
に育ってほ
しい10の姿

小学校
6歳児~

主体的・対話的で深い学び
アクティブラーニング
(中学校・高等学校との接続)

健やかに伸び伸び育つ
身近な人と気持ちを通じ合う
身近な物と関わり感性が育つ

健康
人間関係
環境
言葉
表現

健康な心と体、自立心、協同性
道徳性・規範意識の芽生え
社会生活との関わり、思考力の芽生え、
自然との関わり・生命尊重
数量・図形、文字等への関心・感覚
言葉による伝え合い、豊かな感性と表現

各教科:国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、
家庭、体育、外国語
特別の教科:道徳、外国語活動、総合的な学習、特別活動

教育基本法+児童福祉法+子育て支援等+共生社会の実現

園の活動

地域

職員の資質向上

教育・保育の内容

組織力の向上

地域

健康及び安全の内容

教育・保育理念:いのちを大切にする

子育て支援等の内容
在園児の保護者
地域の子育て世帯

保育目標:子どもの健全な心身の発達を図りつつ、生涯にわたる人格形成の基礎を培う
I 人間愛 II 遊びの満喫・子ども時代の謳歌 III 生活力の涵養 IV 環境・社会愛 V 感謝と祝福

全体的な計画Ⅱ：教育・保育課程

		0歳児		1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳
ねらい	教育	成長欲求を充足し、能動的な活動を楽しむ	能動的	全身の感覚を働かせ好奇心旺盛に探索活動や模倣を楽しむ	子ども関係を育み、象徴機能や想像力を広げ、様々な見立て・つもり遊びを楽しむ	友達と活動範囲・種類を広げながら、周りの環境や身近な自然へ関わりを楽しむ	友達との豊かな感情交流深めながら、自ら表現・制作した環境での遊びを楽しむ	集団生活の中で自立的・意欲的に活動すると共に、生活への参画やプロセスを楽しむ	友達や自分の存在意義、ものの成り立ちへの理解を深め、感謝・祝福する心を育む
	養護	生理的欲求の充足、愛着の形成により、心地よく過ごす	養護的	自己主張を受容・共感してもらう中で、自分なりの表現を楽しむ	自立心を受容・共感してもらう中で、いろいろなことに挑戦する	知的欲求や友達関係の葛藤など、様々な感情を受容・共感してもらう中で自己肯定感を育むと共に、ひとへの思いやりや責任感・貢献感を高める			園児の状況及び保護者の思いを理解し、適切な就学に繋げる
健やかにのびのびと育つ	個々に応じた生活の保障・情緒の安定	健康	自分で・共に食べる喜び興味や活動欲・心身の発達に応じた環境構成	健康な心とからだの基礎を培う豊かな感覚運動の促進	自分で食べる・共に食べる喜び献立注文開始基礎的運動能力の獲得	心身ともに健康・安全な生活を自ら創り出す	運動の醍醐味・挑戦する面白さの満喫へ	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	健康な心と体
身近な人と気持ちに通じ合う	基本的信頼感の獲得・愛着の形成共同性の基礎を培う友達への関心とふれあう喜びの体験	人間関係	子ども中心の温かな人的環境、目当てある活動の保障と自己効力感の育成	自己主張と自己抑制・ギブアンドテイクの成立人間的魅力にあふれ、受容・共感的、応答的な保育者等の存在		自律から自立へ、自己信頼と自尊心・自己肯定感を持つ子どもへ	対話的保育の創造、共生感から共同体意識の獲得へ	自立心、協同性道徳性・規範意識の芽生え、社会生活との関わり	
		言葉	共同性の基礎を培う愛情豊かなコミュニケーション身振り・動作・表情豊かな前言語的コミュニケーション一語文、要求語、生活場面でのやりとり、語彙数の獲得		子どもの心情・思いへの積極的傾聴と相互理解の促進	生活における言葉の完成・豊かな日常生活から生れる豊かな言葉	思い・願いの言語化・文字への憧れ、絵手紙での人・社会との交流	言葉による伝え合い話し言葉を大切にしながらの書き言葉の習得	
身近なものに関わり感性が育つ	豊かな感覚を育む生活・遊び環境ものへの興味・関心身近な自然や地域との出会い	環境	小さな冒険・探索行動の満喫	身近な動植物・自然とのふれあう原体験	自分で収集した自然素材での遊び、なぜ・なぜ等知的欲求を意欲へ	生活の中で育む数・量・論理的思考を育む	藍・自然の家等、自然の不思議・美しさへの感動体験、文化・科学的体験	思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、数量・図形、文字等への関心・感覚	
		表現	素材との出会い・感動の表現	のびやかな描画活動・イメージする面白さの満喫良い音楽と全身で即興的身体表現		私・私たちの作品の中での創造的生活・描く面白さを堪能、音楽への溶解	手づくりの音楽・共鳴する喜び、個性的創造的活動の尊重と満喫	豊かな感性と表現	
健康支援	●年間保健指導計画に基づく全職員による連携・協働●登園時及び保育中の園児の状況に応じた適切な対応・保護者の意向の反映・連携、●行政・関係機関との連携・協働●内科・歯科検診								
食育推進	●安全な食材、栄養・園児の嗜好・意向を反映した自園給食●行事食・郷土食・旬の食材の紹介●野菜の栽培●梅干・味噌作り体験●おやつbuffetの実施●献立・食育だより・レシピ・食材の展示								
環境及び衛生管理	●保健所・園医・産業医等関係機関との連携・協働●内外の設備・用具等の清掃、消毒、安全管理、自主点検●子ども・職員の清潔保持●感染予防対策指針の周知と実施、保護者との情報共有								

全体的な計画Ⅲ 乳児編

自分の思いや小さな目当てが願いへ、自分の行動により生み出される現象の面白さが喜びと意欲へ

遊び



0歳児:「あっあっ。」興味の広がり。様々な姿勢で探索



0歳児:「おー！」好奇心の芽生え。集中して繰り返す操作



1歳児:「はい」「ありがとう！」保育者との楽しいやりとり



1歳児:「どうぞ。」体験の再現。象徴機能の発達



2歳児:「お手で洗って。」ごっこあそびイメージの共有



2歳児:「ちよっきん。」ハサミを操作して成長の自覚

期の活動

～春～
土
泥んこ



いのちの土
生活の土
遊びの土
土との関係



～夏～
水



いのちの水
生活の水
遊びの水
水との関係



～秋～
自然
運動



自然を満喫
全身で感受
心身の躍動



～冬～
表現



創造的想像
個性的創造
共生的創造
表現することは生きること



生活体験



目を合わせて心地よい授乳



スキンシップを交えオムツ交換



着脱の協力動作から自立へ



自分で食べると食欲倍増



一緒なら安心トイレで排泄



優しい手に撫でられて入眠

愛情豊かな生活を土台に芽生える能動性⇒対話的・創造的な環境で育まれる子どもの主体性

生活を土台にした系統的活動と自由遊びの関係⇒対話的・躍動的・共生的カリキュラムへ

活動に活力を与える自由あそび・子どもの思いや願いを実現する保育活動

自由遊び



福島ひまわり里親プロジェクト
「元気に咲きますように！」



屋上プールの水を園芸用水へ
「水が来た！つないで！」



竹馬のコースを自分たちで作って
「こども行けるで！」



笠取で見つけた八つ手の葉
「こどもてんぐやで〜！」



草木染の布をよって縄に
「お母さんにあげるねん。」



発表会の衣装づくり「こどもたねのねあのねのね。」

期の活動

～春～
土泥んこ

いのちの土
生活の土
遊びの土
土との関係

～夏～
水

いのちの水
生活の水
遊びの水
水との関係

～秋～
自然運動

自然を満喫
全身で感受
心身の躍動

～冬～
表現

創造的想像
個性的創造
共生的創造
表現することは生きること

生活・文化的
体験



土づくりから野菜栽培へ



染料づくりから草木染へ



種から藍、育み合う愛着



稲の栽培から脱穀粃摺りへ



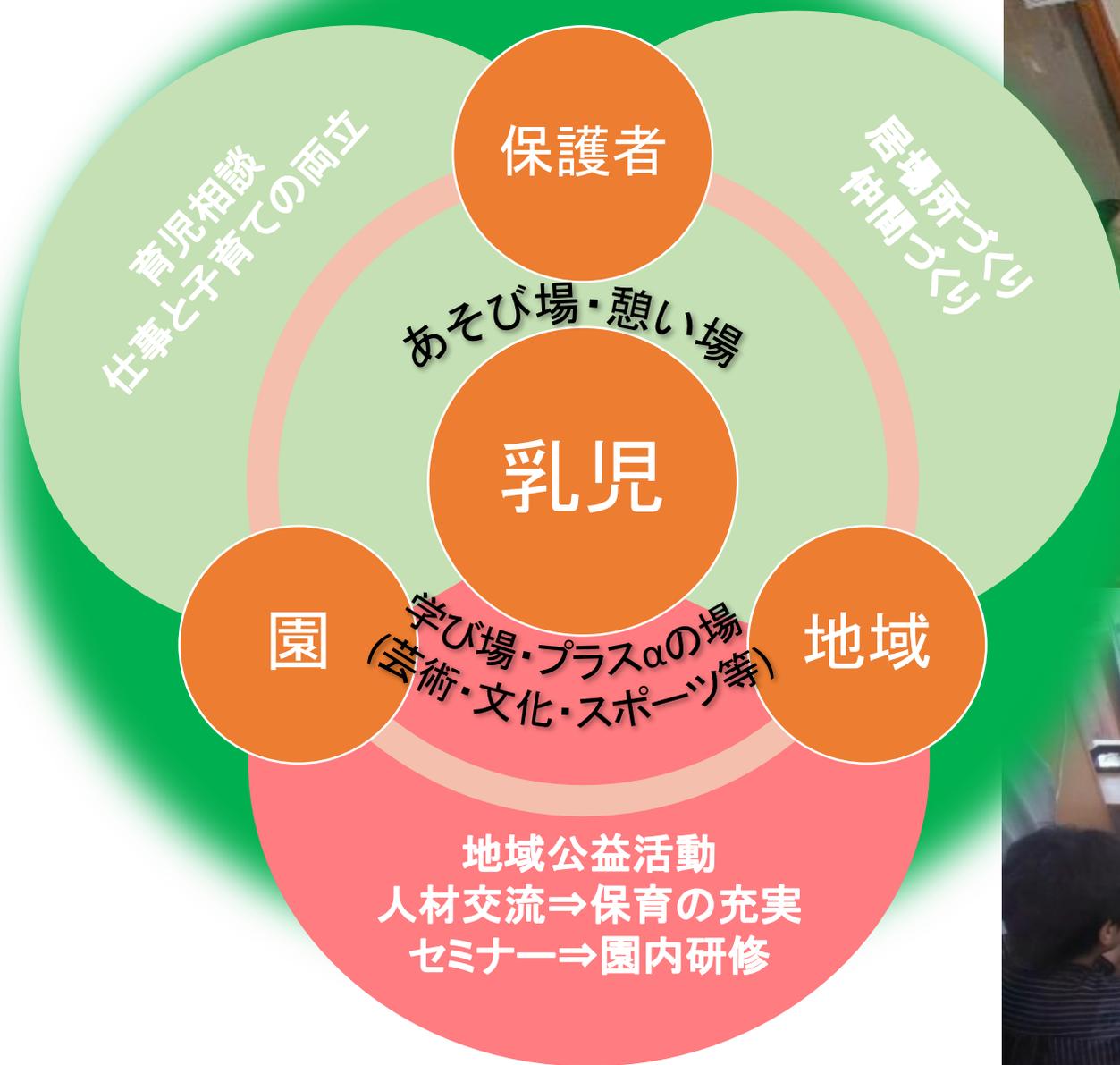
育てた大豆で味噌づくりへ



藍だてから藍染へ

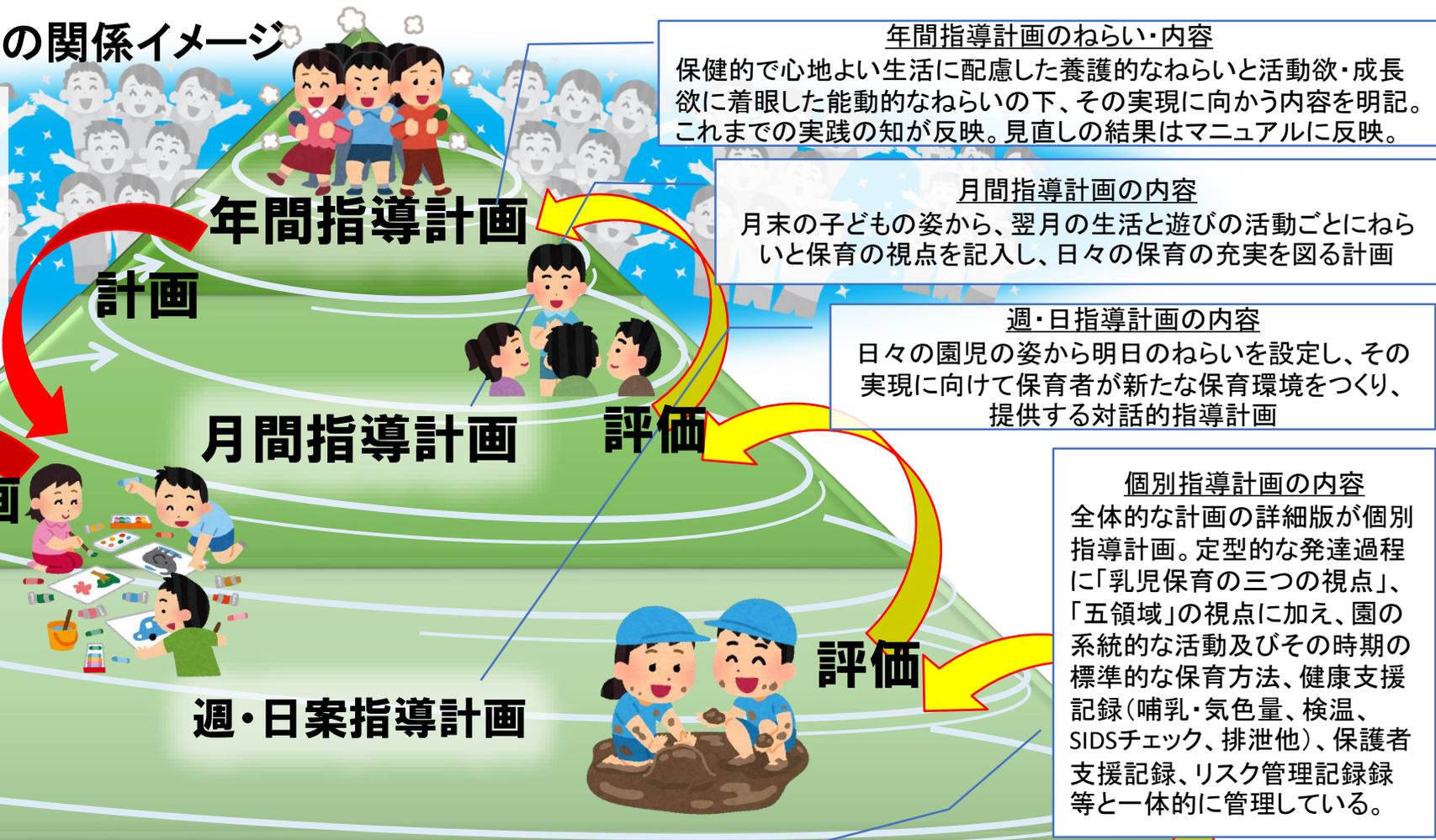
生活を背負う系統的体験 栽培・染め・色水

子育て支援活動



個別指導計画と短期・長期指導計画の関係イメージ

矢印は計画と評価の連続性を示している。
 年間指導計画から個別指導計画に向かって具体的かつ個別的になる。短期指導計画では一人一人の成長を見守る個別計画と集団の多様性を活かす計画が混在する。見直しは計画とは逆方向に日々の振り返り、個人の振り返りを、月、年、保育マニュアルへと向かう。ピラミッド型デザインは螺旋状に上昇していく日々の実践を表現しており計画・評価を通して教育・保育の質が向上していくプロセスをイメージしている。



年間指導計画のねらい・内容
 保健的で心地よい生活に配慮した養護的なねらいと活動欲・成長欲に着眼した能動的なねらいの下、その実現に向かう内容を明記。これまでの実践の知が反映。見直しの結果はマニュアルに反映。

月間指導計画の内容
 月末の子どもの姿から、翌月の生活と遊びの活動ごとにねらいと保育の視点を記入し、日々の保育の充実を図る計画

週・日指導計画の内容
 日々の園児の姿から明日のねらいを設定し、その実現に向けて保育者が新たな保育環境をつくり、提供する対話的指導計画

個別指導計画の内容
 全体的な計画の詳細版が個別指導計画。定型的な発達過程に「乳児保育の三つの視点」、「五領域」の視点に加え、園の系統的な活動及びその時期の標準的な保育方法、健康支援記録(哺乳・気色量、検温、SIDSチェック、排泄他)、保護者支援記録、リスク管理記録等と一体的に管理している。

